

一七.八.二四

第二次ソロモン海戦

ガダルカナル島東方海面敵機動部隊攻撃
ガダルカナル敵飛行場攻撃

1161

一、本海戦ハ敵「ガ」島基地攻防戦ヲ契機トシテ生^{（起セル）}我母艦部隊相互ノ
航空戦ニシテ敵ハ支隊タル龍驤ニ牽制セラレ我ハ龍驤ノ犠牲ニ於テ敵
主力ノ先制攻撃ニ成功セルモノニシテ（我主力ヲ攻撃シ得タルハ敵索
的攻撃機二機ノミ）敵艦隊ガ基地ト協力其ノ東方ニアリテ我機動部隊
ノ隙ニ乗ゼントスル戦法ハ後日南太平洋海戦ニ於テハ我機動部隊ノ警
戒スル所トナリ奏功セザリシモノナリ

二、本海戦ニ於テ第一、第二次攻撃ニ空母一大火災空母一火災ノ戦果ヲ
舉ケタルニ拘ラズ第三次攻撃及夜戦ニ依リ戦果擴充ニ至ラザリシハ敵
狀不明我燃料不足及敵トノ距離等ノ關係ニ依ルモノナリ

三、第二次攻撃隊ハ當時敵ニ觸接セルモノナリ又同指揮官機ハ第一次攻撃
隊及KDB指揮官ヨリ發セラレタル敵狀ニ關スル電ヲ受信セズ重大戦機ニ
敵ヲ逸セリ

第二次ソロモン海戦

二期 日一七八二四

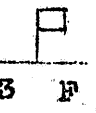
ニ参加兵力

(1) 聯合艦隊兵力部署

部 隊	支 援 部 隊		主 隊	指 揮 官	兵 力	主 要 任 務
	機 動 部 隊	前 進 部 隊				
(其ノ他省略)	第三艦隊司令長官		聯合艦隊司令長官			
	第二艦隊司令長官					
	3 F (一部缺) 1 S X 1 3 S A	2 F (一部缺) 陸 奥 山陽丸				
	(一) 敵艦隊擊滅 (二) 南東方面部隊ノ作戰 支援		全作戦支援			

(口)機動部隊参加兵力

(八月二十三日)

部 隊	指 揮 官	兵 力	主 要 任 務
本 隊		初風、秋風 (10dg) 1sf (翔鶴、瑞鶴) (風雲、夕雲、卷雲、秋雲)	(一)敵艦隊撃滅 (二)南東方面部隊作戦支援
前 衛	11s	筑摩 17dg (谷風、旗風、浦風、磯風) (浦波、敷波、綾波) (比叡、霧島) 7s (熊野、鈴谷) (長良) 4dg (野分、舞風)	(一)敵艦隊索敵 (二)東部部隊作戦支援
支 隊	8s	龍 8s (利根) (時津風、天津風)	(一)「ガダルカナル」増援部隊支援 (二)「ガダルカナル」攻撃
第一 補給部隊	康邦丸 監督官 東 榮丸		
第二 補給部隊	日朗丸 監督官 日朗丸	豊光丸 丸(有明)外ニテ被雷撃	補 給

二十二日旭東丸(給油)補給隊ニ編入

三 作戦一般經過

(イ) 敵 狀

(一) ソロモン群島南東方面

八月七日未明敵ハ航空母艦ヲ含ム有力ナル艦隊護衛ノ下ニ輸送船三十數隻ヲ以テ「ガ」島ヲ急襲第一「ソロモン」海戦生起二十日以來敵ハ「ツラギ」「ガダルカナル」方面ニ對シ増援部隊ノ支援ヲ開始

(二) 「ギルバート」諸島方面

八月十七日早朝敵海兵隊一六〇名ハ潜水艦二隻ニ分乗「マキン」島ニ揚陸ス

我方募兵ヲ以テ奮戦死守シ之ヲ撃退ス

(三) 「ニューギニア」南東部方面

「ポートモレスビー」北方山嶽地帯ニ於テ彼我對峙中

四 敵空軍

敵機ハ「ニューギニヤ」南東部基地ヨリ「ラボール」方面ニ屢々
來襲シ一帯ノ索敵ヲ實施中

(ロ) 友軍ノ狀況

(一) 「ガダルカナル」島ニ對シテハ陸軍一木部隊、横五特ヲ第二水雷
戰隊司令官ノ護衛ニ増遣中（八月末終了）

(二) 我機動部隊ハ二十日敵有力部隊出現ノ報ニ接シ急遽洋上補給ノ上

「ソロモン」群島東方海面ニ進出ス

(三) 前進部隊ハ「トラタタ」東方海面ヲ南下中

(ハ) 經過

月日時刻	一般經過概要	記事
八一六	桂島錨地出撃	
八一八	「サイパン」西方 ^北 方ノ颪風ヲ避ケ十九日朝「アグリガン」「バガン」間ヲ通過列島線東方ニ進出	
八二〇	敵有力部隊「ソロモン」南東海面ニ出現ノ報ニ接シ「トラツク」寄港ヲ取止メ急速南下ス	
八二三	敵機動部隊ハ「ハワイ」ヲ出撃二十四日頃當方面來攻ノ算アル情報ニ接シタルヲ以テ敵哨戒圈内ニ突入スルコトナク我行動ノ秘匿ヲ圖ルタメ豫定變更反轉北上ス	

八二四

〇二〇〇

支隊分進南下ス

(〇七二三敵大艇一機ノ胸撃ヲ受ケ)

一〇三〇龍嶺攻撃隊 (fX¹⁵ fX⁶) 發進一二三〇「ガ」

飛行場ヲ攻撃ス

島

支隊ハ爾後北方ニ避退中一三〇〇敵陸攻二機

次テ猛爆艦攻(雷撃)ノ連續攻撃ヲ受ケ

龍嶺ハ敵艦爆十數機及雷撃機約五機ノ同時

攻撃ヲ受ケ奮戦セルモ最後ニ魚雷一發左舷

中部ニ命中飛行機ノ收容不可能トナル

龍嶺乗員及搭乗員ハ利根、時津風、天津風

ニ收容ス〇五三五前衛ニ合同

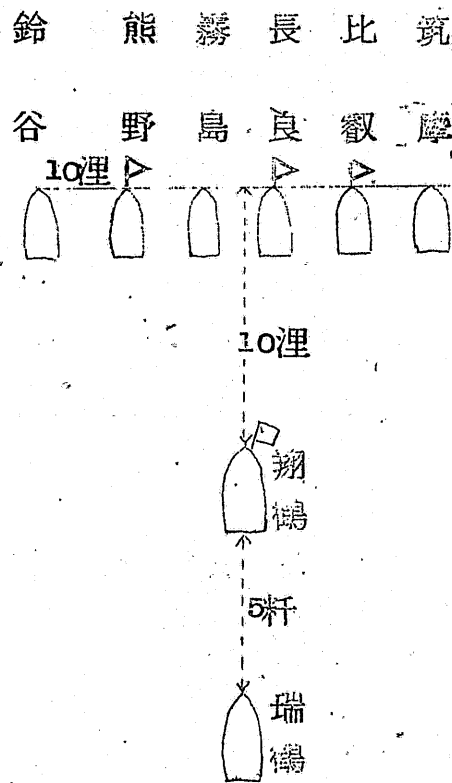
〇四〇〇

本隊及前衛ハ反轉引續キ第一次索敵隊ハ概ネ
支隊ノ東方ヲ警戒南下シタルモ敵情ヲ得ズ

支隊分離

八〇〇
電報沈没

警戒航行序列



一二三四敵飛行艇四機我二觸接

一二三八

□ ↓ 敵大部隊ノ位置一三〇〇ノ我ガ位置ノ

一五三度二五五哩附近ノ準備出來次第發艦敵大部
隊ヲ攻撃セヨ

見 部 機 筑
隊 敵 摩
ヲ 機 二
發 動 號

八二四		一二五五	翔鶴第一次攻撃隊	$f \times 18$	$f \times 4$	發進	
一三〇四		瑞鶴第二次攻撃隊	$f \times 6$	$f \times 9$	發進		
一三〇八		敵爆撃機二機翔鶴ヲ攻撃右舷ニ至近彈アリ					被害ナシ
一三五五		翔鶴第二次攻撃隊十二機發進					
一四〇〇		瑞鶴第二次攻撃隊二十四機發進					
一四〇二		前衛本隊ヨリ分離シ進撃ニ轉ズ					前衛分離
一五五〇		霧島ハ四機ノ爆撃ヲ受ケタルモ直衛舞風ニ至近彈アリタル外被害ナシ					
二二〇〇		「ステewart」島ノ東四〇浬ニ達シタルモ敵情ヲ得ズ反轉北上本隊ニ合同スル如ク行動					
一四四〇		第一次攻撃隊ハ空母及戦艦一隻ヲ基幹トスル二群ノ敵ヲ發見翔鶴攻撃隊ハ北方空母ヲ瑞鶴					

13
ニ
ニ

1170

二二〇〇

攻撃隊ハ南方空母ヲ攻撃ス
前衛ハA點（補給點）ニ向フ

B×1	B×1 北
A×1	A×1 方
C×4	C×1 群
d×6	d×7

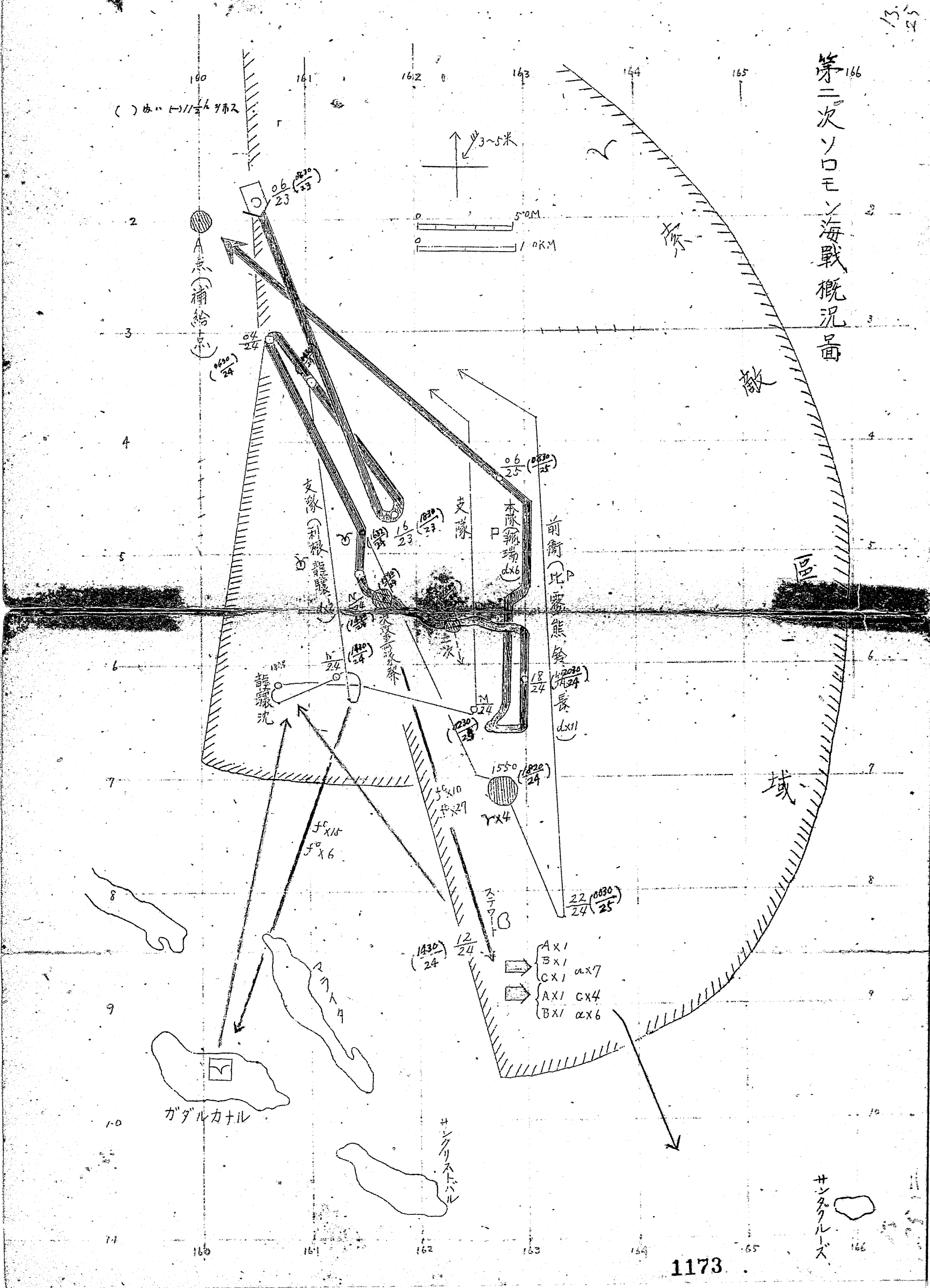
1171

補給隊

月 日		第一補給隊		第二補給隊	
八 一 四	八 二 一	東邦丸	東榮丸	東亞丸	國洋丸
八 二 二	八 二 四	「トラツク」南東方面ニテ	横須賀發	吳發	東亞丸
八 三 〇	八 二 八	SS 7810S ニ重油補給	△點ニアリテ 各隊ニ補給	横須賀ニ向フ	東亞丸
		佐世保發	渠入保世佐	面方山德	共榮丸
		同航	損傷吳ニ	有明灣外敵	二十日吳發
		着トラツク 糧食補給			豐光丸
					大阪發

二十二日旭東丸編入、△點ニ在リテ重油補給ニ従事ス

第166
第二次ソロモン海戦概況図



海戦後ニ於ケル彼我ノ行動

敵機動部隊

二十四日我空襲ヲ受ケタル後南方ニ避退「サンタクルーズ」島西方
ノ我一艦戦ノ散開線ヲ通過ス我潜水艦四隻之ヲ発見^セルモ襲撃ノ機
ヲ得ズ二十六日ニ至リ損傷空母收容ノタメ「サンタクルーズ」島南
西方ヲ北上ス

我機動部隊

二十五日早朝ヨリ東方及南方ヲ索敵敵ヲ見ズA點ニ於テ補給ヲ實施
ス後「グリニツチ」島東方海面ヲ機宜行動友軍ノ「ガ」島攻撃支援
ニ任ズ

四戰果及被害

戰果	被害
攻撃機隊ニヨリ 空母二隻火災 撃墜三九機	龍驤沈没 自爆二七機 戦死四八名

第二次ソロモン海戦聴取事項

2F 参謀庵原中佐

(一) 2F、3Fノ東方ニ在ツテ支援。

5S 及千代田ニ南方敵^{KDB}ヨリ敵機二十機來襲千代田火災トナル

龍驤ハ^{GF}命令ニ依リイハ^{GF}イハ^{GF}乍ラ^{3F}ニ出シタ

3F 参謀末國中佐

(一) 敵空母二隻撃沈ハ確認シ居ラズ各艦命中弾三位アツタ筈

(三) 龍驤被攻撃ニツキ

敵機ノ來襲ヲ慮リ攻撃隊發艦後北方ニ避退シ攻撃隊ハ「ガ」島攻撃後「ブカ」基地ニ歸投補給ヲコトニBFヨリ發令セラレタガ龍驤艦長ノ意見具申ニ依リ支隊指揮官(88司令官原中將)獨斷飛行機收容ノコトニ決定飛行機發進後數時間デモトノ地點ニ南下シタ爲敵機ノ攻撃ヲ受ケルコトトナリ被害ニ依リ收容不可能トナリ歸着機ハ皆驅逐艦附近ニ着水シタ

1177

13
ニ
モ